※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　クラフト科

教科	工業	科目	クラフト全般	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	無し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本の伝統的工芸技術である陶芸の知識と技術を習得し、これまでに学んだ基礎技術を活かしながら造形的な創造活動の基礎的・基本的な知識を培う。
使用する材料についての理解や的確な加工技術と表現力の習熟や直感力と立体感覚を身につけ、計画的および発展的なアイデアを開発していく力を育成する。

２　学習の到達目標

・陶芸に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
・造形の構成で材料は適正であるか、強度や安全性が確保されているか、機能が損なわれていないかなどを総合的に判断できる能力、実際に活用できる美的感覚と表現能力を養う。
・工芸文化に関心を持ち、制作に向けて意欲的に取り組み、根気よく作業を行う態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	陶芸に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。 安全に作業を行う方法を理解している。	陶芸に関する技法の課題解決をめざして考えを深め、学んだ技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。	創造活動の喜びを味わい、工芸文化に関心を持ち、制作に向けて意欲的に取り組み、根気よく作業を行う態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	七宝の特性基礎技術	陶芸の材料とその特性について 仕上げの知識と工具の取り扱い 作品制作	a:陶芸に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。 安全に作業を行う方法を理解している。 b:陶芸に関する技法の課題解決をめざして考えを深め、学んだ技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。 c:創造活動の喜びを味わい、工芸文化に関心を持ち、制作に向けて意欲的に取り組み、根気よく作業を行う態度を身に付けている。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物	提出物 授業態度 課題ノート
後半	七宝の応用技術	陶芸の応用技術について 作品制作	a:陶芸に関する応用的な知識と技術を身につけている。 安全に作業を行う方法を理解している。 b:陶芸に関する技法の課題解決をめざして考えを深め、学んだ技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。 c:創造活動の喜びを味わい、工芸文化に関心を持ち、制作に向けて意欲的に取り組み、根気よく作業を行う態度を身に付けている。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物	提出物 授業態度 課題ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度